

単元名：

日本語と発音がそっくりな英語

(全1時間扱い中 第1時)

授業日時 令和3年10月22日(金)第4校時

授業学級 2年2組

授業会場 2年2組教室

授業者

指導者

(1) 主眼(授業の手立てとねらい)

日本語のままでも少し発音が違うだけでそのまま通じる英語があると知り、どんな発音をするのか知りたいと思っている子ども達が、知った発音を使ってゲームをする場面で、ペアの人とお互いに発音を気にしながら言葉にすることを通して、日本語のままでも発音が少し違うだけで英語で通じる言葉があることを知り、楽しんでその発音に慣れ親しむことができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの動き	・指導 ※留意点 《教材》 【評価】	時間
導入	1. 数字の英語の読み方を確認する。 2. 7steps に挑戦する。	「なんだっけ」 「ワンツースリーフォーファイブ」 「段々思い出してきたな」 「意外と言えたよ」 「リズムがあって楽しいな!」	《数字のカード》を貼りながら、英語での読み方を確認する。 《7steps》の曲を流し、1から歌う。 リズムに乗って、英語を言うことを楽しむ。	7
	【学習問題】身の回りのものを英語で言ってみよう。			
展開	3. 日本語のままでも、発音が少し違うだけの英単語を知る。	「りんご」「APPLE!」 「バナアナ!」 「え、うどん?」 「知らない」「うどおーん!」 「ウーダァン?」「日本語と似てる!」 「アッラーイセンセイじゃない?」 「寿司ってスーシーって言うんだ、おもしろい響きだな」	①「What is this?」と問い、《PEN, APPLE》等のイラストを見せ、英単語に触れさせる。 ②①に続けて《うどん》のイラストを見せる。少し考えさせてから、「This is UDON」と。手で発音の手がかりを表現しながら言う。 《UDON, SUSHI, SUKIYAKI, TEMPURA, KIMONO, Mr. ARAI, KARAOKE, SUMOU, ORIGAMI,》の9つを提示し、発音させる。	11
	【学習課題】日本語のまま少し発音が違うだけで通じる英語の言葉を知り、発音に注目して言ってみよう。			
	4. ゲームの説明を受ける。	「聞いた事のないゲームだな。」 「難しいならしっかり聞かないとな。」 「実際に先生達がやっているのを見たら、ルールが分かったぞ」 「早くやりたいな」 「TEMPURA の跳ねるような発音が好きだから、TEMPURA のマスを取りたいな」	※ティックタクトゥーゲーム 「ちょっと難しいので、よく聞いて下さい」といい、《ルール図》を掲示して教師が実際に黒板で実践をする。※きょうか先生 ※ルール：じゃんけんで先攻後攻、印の色を決める。ペアで交互に印をつけ合い、縦/横/斜めのいずれかで3つを先に埋められた方の勝ち。印を付けるときはイラストの名前を言わなければいけない。 ※ゲームの説明をしながら、英単語の読み方を再度確認する。	5
	5. ティックタクトゥーゲームをする。	「うどんってどんな発音だっけ」 「ウーダァンだよ!」 「キャリーオーキ!響きが面白いな」 「スーシーの発音が一番好きだな」	※ペアの組み方を確認し、《ワークシート》を配布する。分からなくなったら周りや先生に聞くよう指示を出す。 ※机間を回り、発音に注目して褒めたりする。困っている児童の手助けをする。	15
終末	6. おまけクイズをして、感想を書く。	「MOCHI?餅!」「お餅のこと!」 「MOCHI は焼いた餅の事だと思ったけど、英語だとアイス餅のことなのか!」 「他にも似た発音がないか知りたいな」	「Do you know MOCHI?」と問い、《MOCHI クイズ(3 択)》をして、日本語由来だが違う物を指す言葉があることを知る。 授業の振り返りを行う。	7

【評価(対象)】英語の発音に楽しみながら慣れ親しむ。(態度)